

ネオ

# サイコン SW NEO

「自立型送水口ユニット」

取扱説明書・取付要領書

機器を正しく設置して頂くために、取扱説明と取付要領をよくお読み下さい。

株式会社 北浦製作所

KS-HD0012-4

制定日 2022.06

# 目次

	ページ数
はじめに／構成 及び 規定	1
逆止弁の交換の仕方	2
各種タイプ／各部名称	3
設置スペース／設置状況の確認	4
立ち上がり管	5
取付けの際の注意点 (ユニットを取付ける際の注意点／サイコンSSW NEO【2連タイプ】の立ち上がり管のレベル出しに関する注意点)	6
スライド機構	7
スライド機構の調整方法	8
取付手順 その①	9
取付手順 その②／アンカー打設	10
連結送水管設備 (施行令29条・施工規則第31条)	11

## はじめに

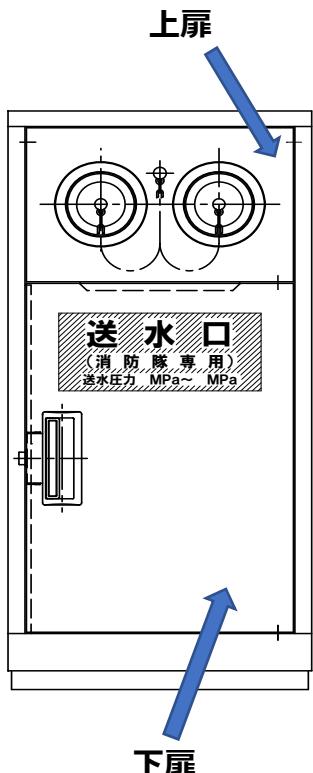
サイコン SW NEO（ネオ）【自立型送水口ユニット】は  
従来、埋設しなければならなかつた  
スプリンクラー設備・連結送水管に使用される逆止弁・止水弁（バタフライ弁）  
排水弁をハウジング型継手で接続し、完全ユニット化した商品です。

最高使用圧力 1.0 MPaと1.6 MPaをご用意しておりますので  
設備の仕様に合わせたユニットをご使用下さい。

### ⚠ サイコン SW NEOに関する注意事項。

- このサイコン SW NEO（ネオ）は 前面の点検口のみ となります。  
基本構造と強度の関係により、各現場に対応した受注生産品は条件に  
より対応しかねる場合がありますので、予めご了承下さい。
- ユニットの配置も当社が指定する配置となりますので予めご了承下さい。  
現場にてユニットを分解された場合は、保証対象外となります。

## 構成 及び 規定



## 送水口の高さ規定

送水口のホース接続口は、地盤面からの高さが  
**500mm以上、1000mm以下**の位置に設ける。

品名	サイコン SW NEO（ネオ）
呼称	100A
最高使用圧力	1.0 MPa / 1.6 MPa
構成部品	逆止弁（インライン型キャッチバルブ）消防認定品
	止水弁（バタフライバルブ）消防認定品
	双口送水口（90°型）消防認定品
	ハウジング型継手 分岐型 消防認定品
	排水弁【25A】消防認定品
	フランジ付短管
配管接続	フランジ【ユニット側 ルーズフランジ】
ユニット重量	1.0 MPa仕様ユニット約 4.8 kg 【双口送水口含む】
	1.6 MPa仕様ユニット約 5.1 kg 【双口送水口含む】
収納箱重量	1連型 約 2.5 kg / 2連型 約 4.1 kg
総重量	1連型 約 7.6 kg / 2連型 約 14.3 kg 【共に16K仕様の場合】

## 逆止弁の交換の仕方

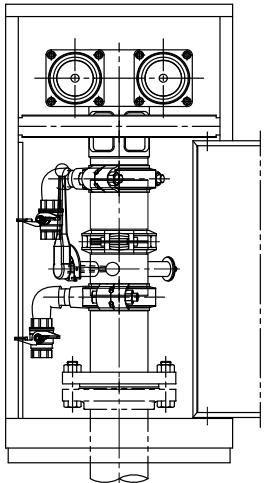


図1

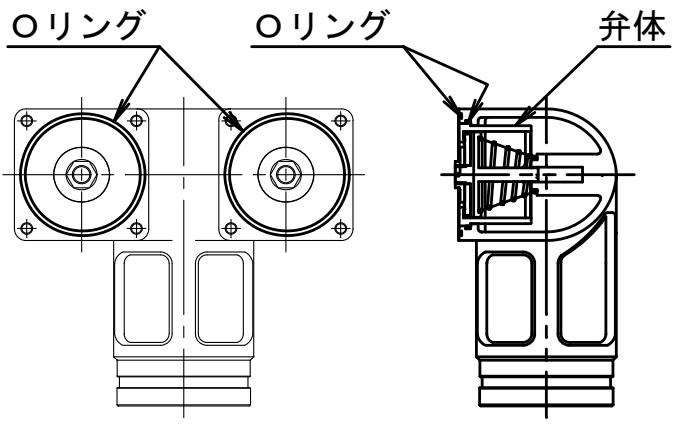


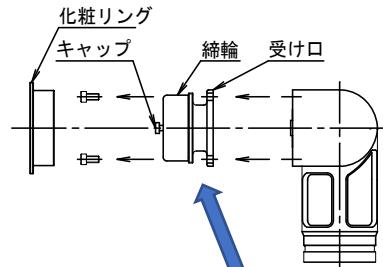
図2 【Oリングの入っている箇所】

逆止弁を交換する際は下記の手順で交換して下さい。

- I. 「キャップ」、「化粧リング」を二つとも外す。
- II. 下扉を全開に開ける、もしくは取り外す。
- III. 上扉を上に持ち上げ、軸のLピンを抜いて扉を外す。

**⚠️ Lピンやワッシャー等は再度、取付けする際に**

必要となりますので絶対に無くさない様に注意して下さい。



【部品名称】

- IV. 「受け口」を外す。 **⚠️ 締輪** を外す必要はありません。

図1の様に六角穴付きボルト【M10】が「受け口」1つにつき、

4個ついていますので、片側もしくは両方を必要に応じて外して下さい。

**⚠️ 「受け口」を外す際、正面のOリングが溝から外れていったりしていないか**

必ず確認しながら交換を行って下さい。水漏れの原因となります。

その際、Oリングが劣化して切れ目やヒビ等が入っていないか目視で確認して下さい。

**【図2を参照のこと】**

- V. 弁体を取り外して、新しい弁体と交換する。

**⚠️ 弁体が浮き出でますが、浮き出でこない場合は、弁体を数回押して下さい。**

- VI. Oリングが所定の位置に収まっている事を最後に確認して「受け口」を戻し  
六角穴付きボルト【M10】を締め込む。

「化粧リング」、「キャップ」を元に戻して交換完了。

## 各種タイプ<sup>°</sup>

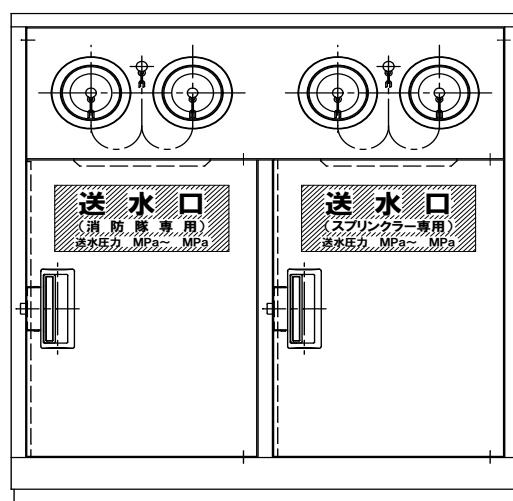
サイコン SW NEO【1連】 各1.0 MPa仕様／1.6 MPa仕様

サイコン SSW NEO【2連】

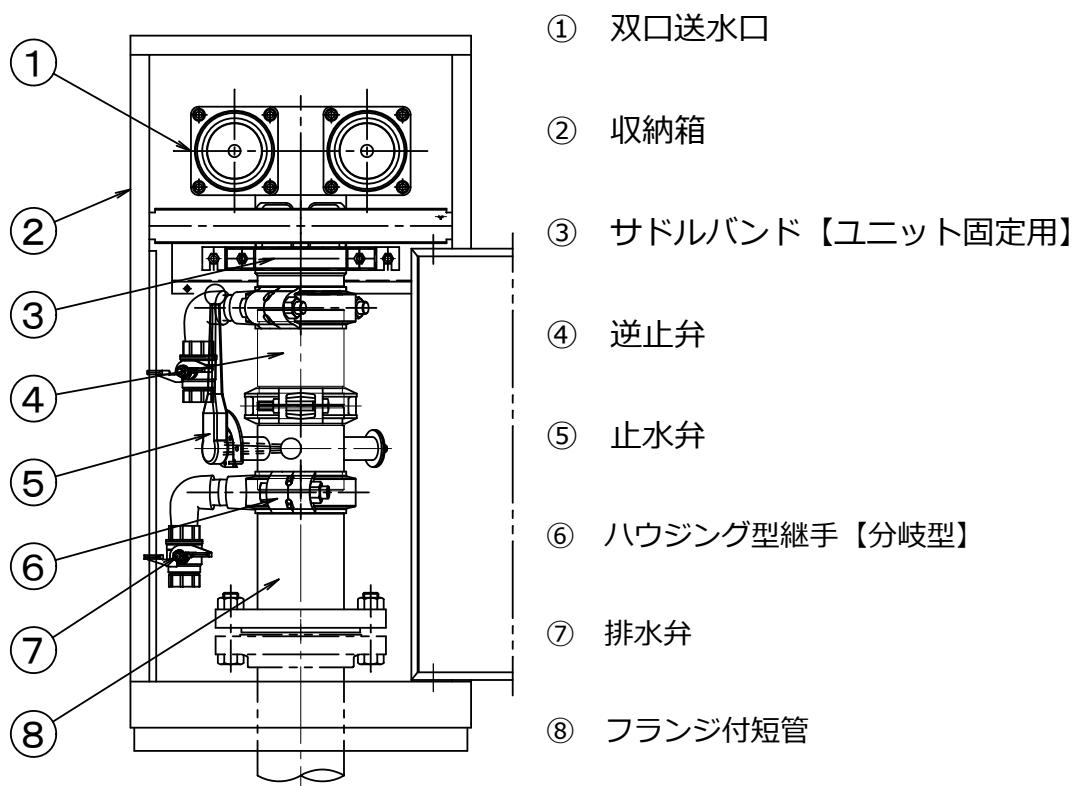
2連タイプは

1. 0 MPa仕様 2 Set／1. 6 MPa仕様 2 Set

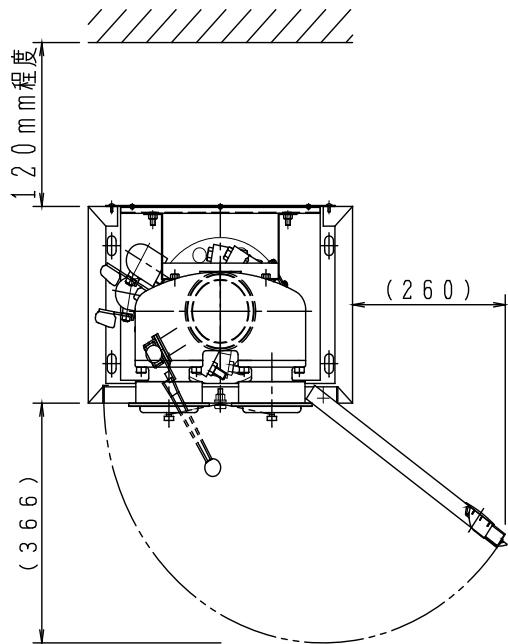
1. 0 MPa仕様 + 1. 6 MPa仕様等の組み合わせが可能です。



## 各部名称



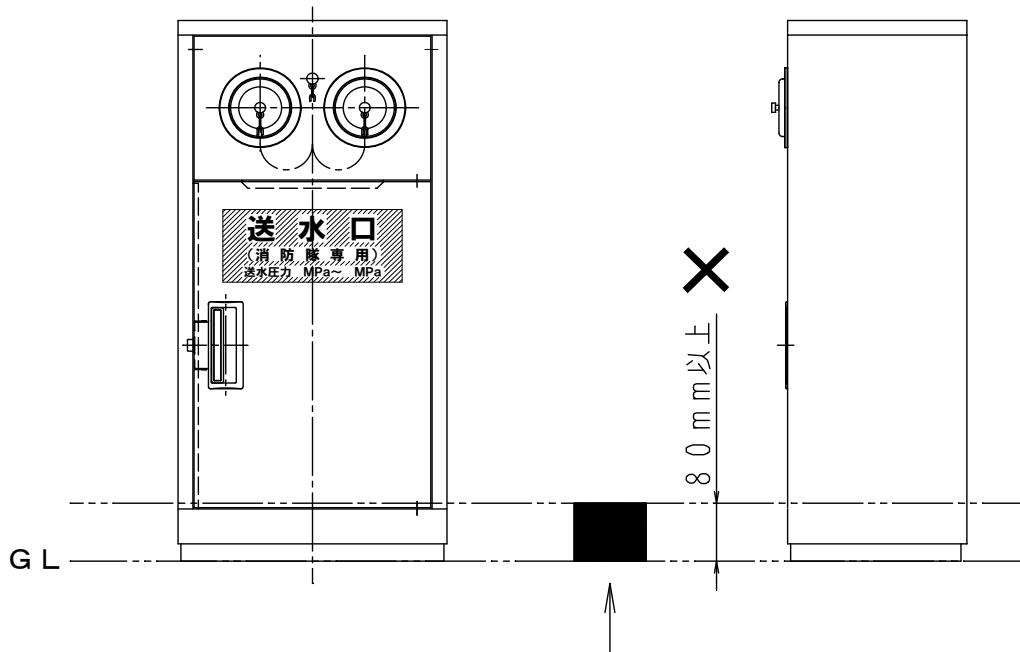
## 設置スペース



前面に点検口がありますので  
左図を参考に、開閉スペースを  
確保して下さい。

背板は外せる設計になっています。  
壁までの距離 **120 mm程度** を  
参考にプラスドライバーが入る  
程度の空間は確保して下さい。

## 設置状況の確認



**!** 収納箱の前面に縁石等、高さ 80 mm以上の障害物が  
無いか、位置関係に十分注意願います。

扉の開閉ができませんと、止水弁の操作が不可能となります。  
必ず扉が全開できる状態にあるか、確認して下さい。

## 立ち上がり管

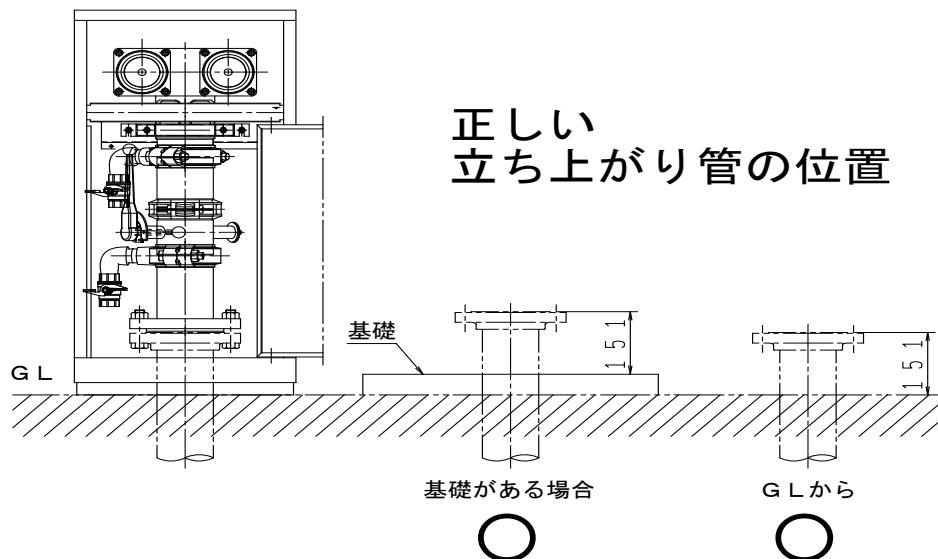
立ち上がり管を立てる場合、下記を厳守して下さい。  
収納箱が取付け出来なくなります。

基礎がない場合

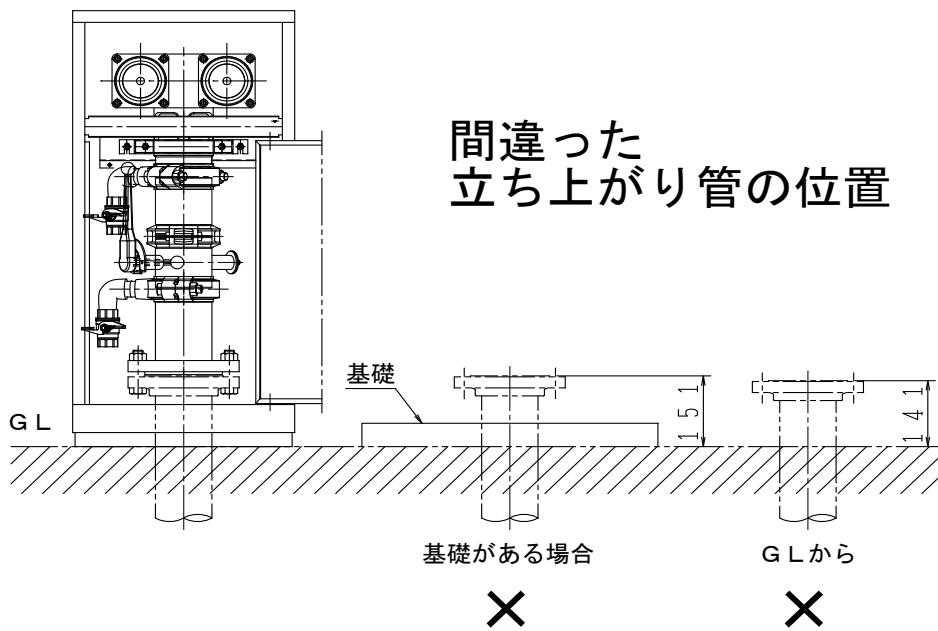
G L から立ち上がり管側の法兰ジ上面まで **151 mm以上**

基礎がある場合

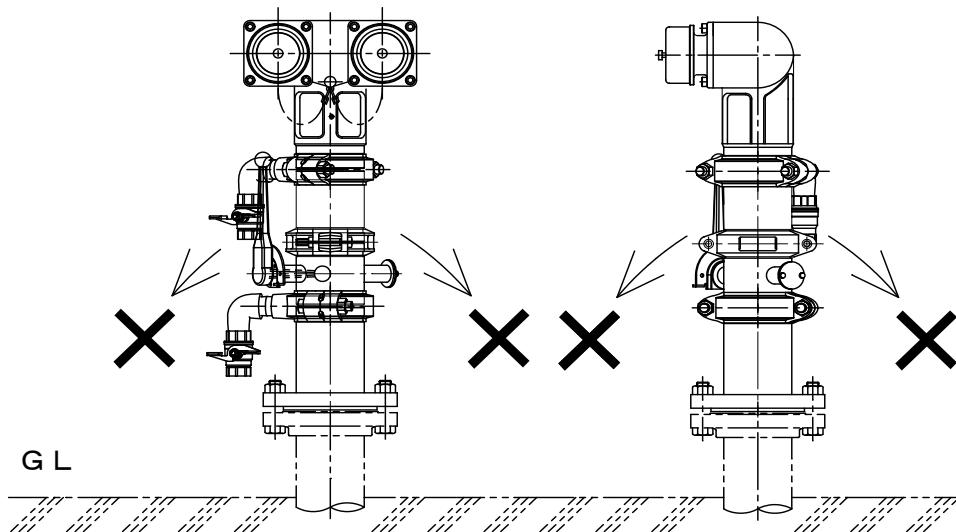
基礎から立ち上がり管側の法兰ジ上面まで **151 mm以上**



正しい  
立ち上がり管の位置

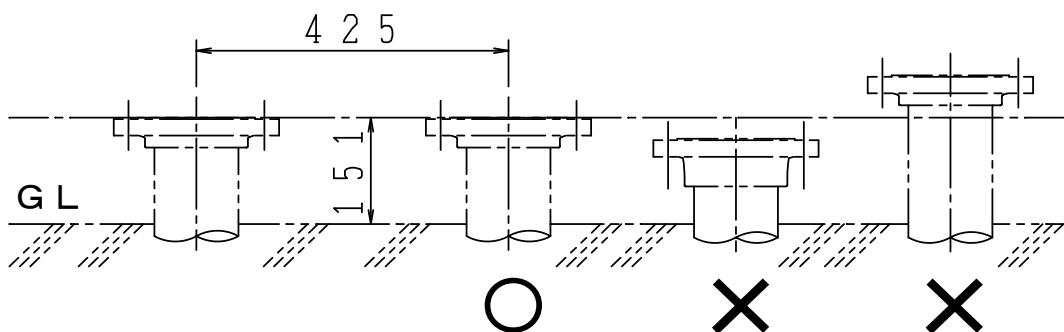


**⚠ ユニットを取付ける際の注意点**



ユニットは前後・左右垂直に立ち上げて下さい。傾き過ぎると収納箱の口金部の開口に干渉したり、化粧リングが取付けできなくなります。

**⚠ サイコンSSW NEO【2連タイプ】の立ち上がり管のレベル出しに関する注意点**



2連タイプの配管ピッチは **425mm** です。

GL又は基礎から **151mm以上** で立ち上がり管のレベルを合わせ様に施工して下さい。

立ち上がり管の誤差許容範囲は

**GL又は基礎から151mm-0、+2【151~153mm】** です。

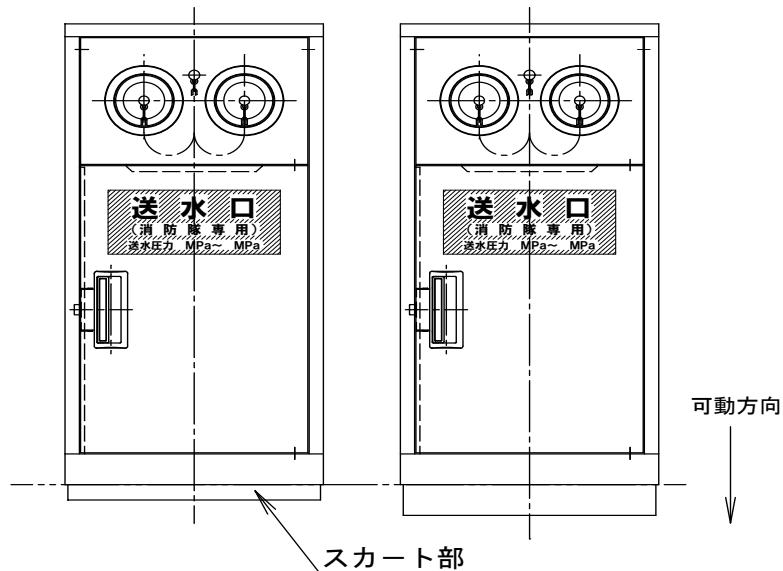
**⚠** どちらか片方が極端に下がり過ぎる又は上がり過ぎると収納箱の取付けや、化粧リングの取付けができなくなります。

## スライド機構

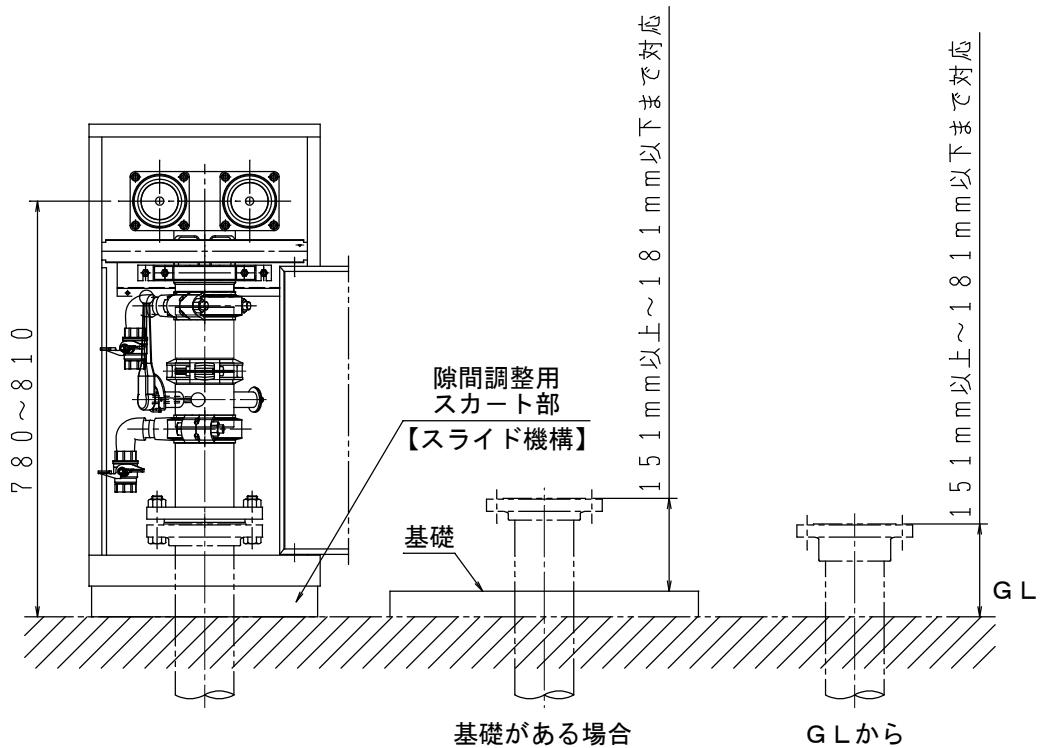
立ち上がり管が上がり気味になってしまった場合

スカート部を下方向へ下ろす事ができるので隙間を隠す事ができます。

対応範囲： GL又は基礎から 151mm以上～181mm以下【30mmの範囲】

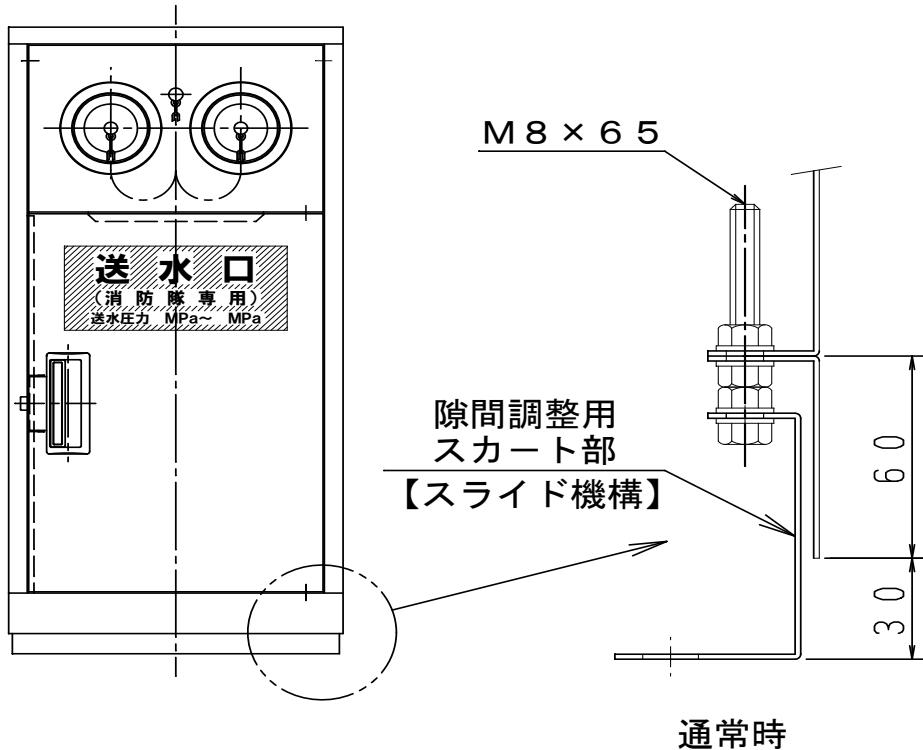


⚠ 可動するのは下方向のみです。

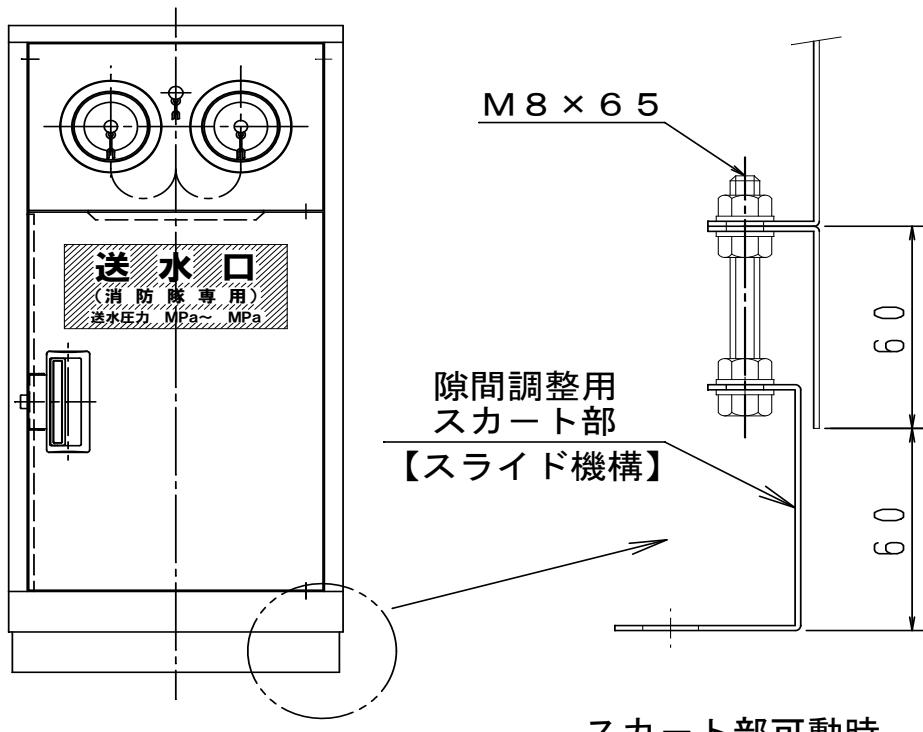


## スライド機構の調整方法

収納箱の下側にある4箇所のボルトナットでスカート部を下げる使用します。



通常時

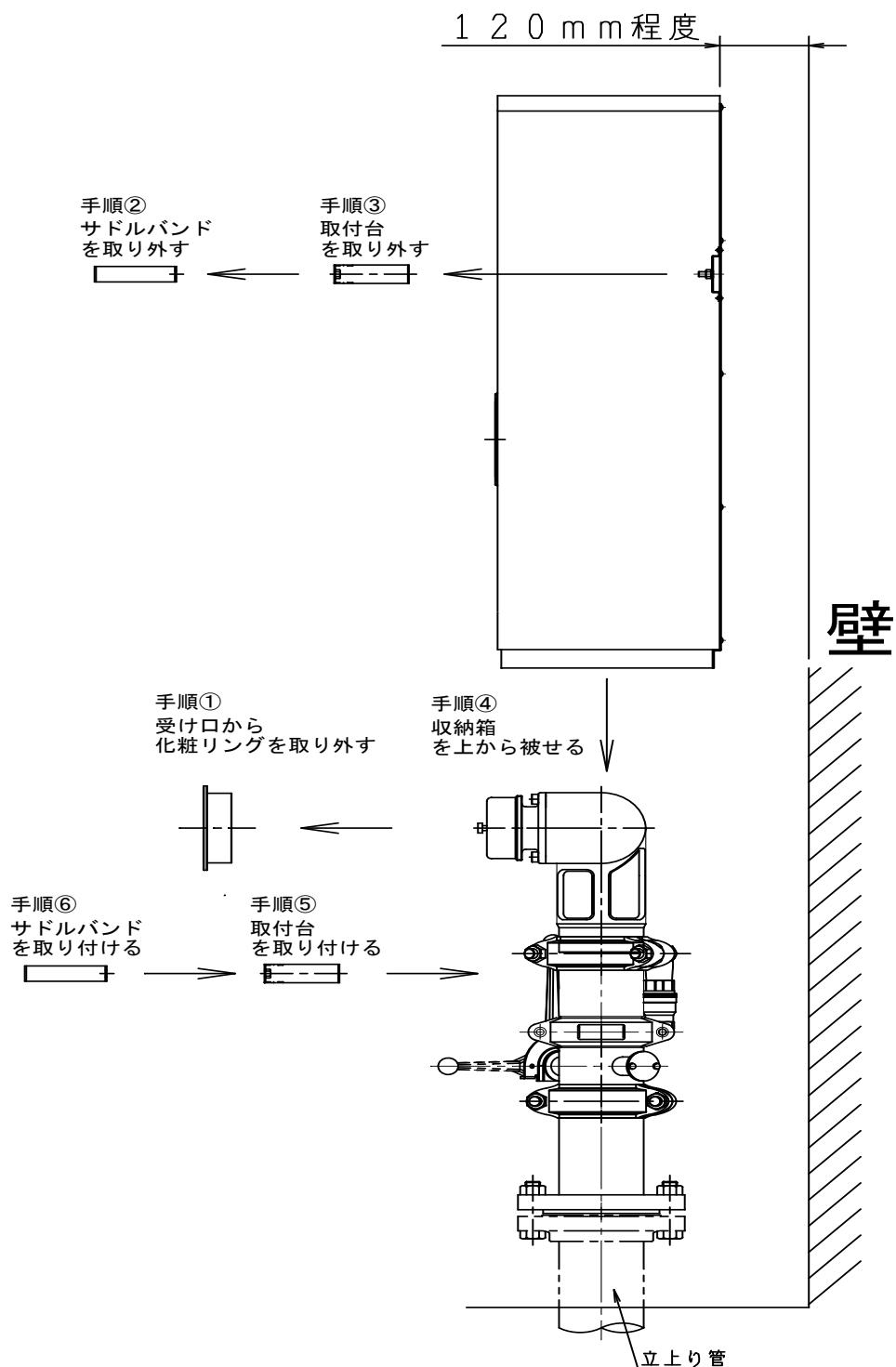


スカート部可動時

## 取付手順

⚠ 収納箱取付け前に、必ず受け口から 化粧リングを取り外して下さい。

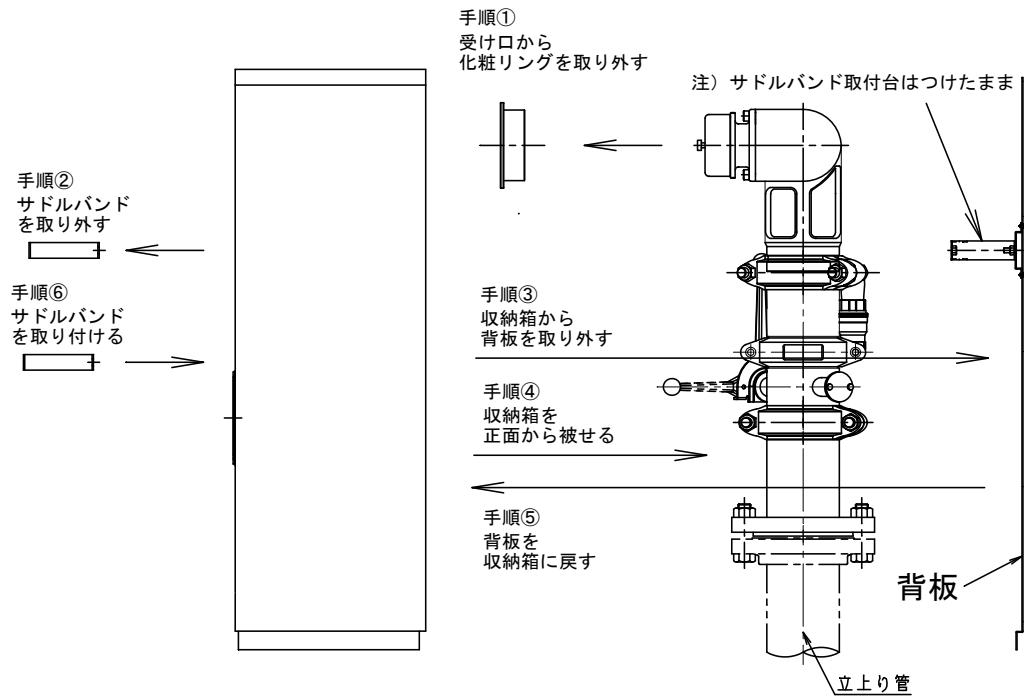
その① 【背面に壁がある場合】



## 取付手順

**⚠ 収納箱取付け前に、必ず受け口から 化粧リングを取り外して下さい。**

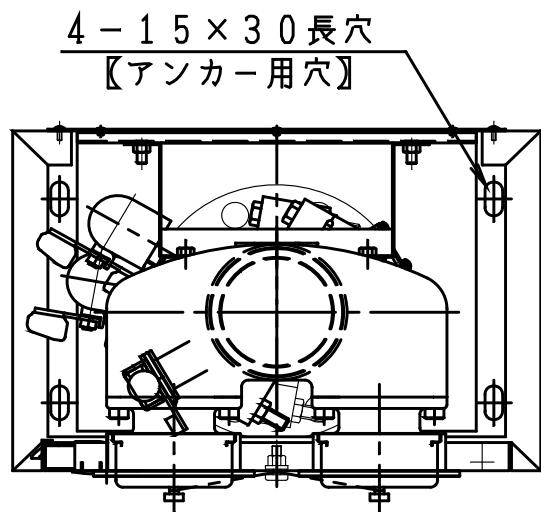
### その② 【正面から被せる場合】



## アンカー打設

必要に応じて、収納箱の最底部にあるアンカー用穴を利用してアンカーが打てます。

M 1 2 を使用して下さい。【アンカーの種類や固定方法に指定はありません】



## 連結送水管設備（施工令第29条・施行規則第31条）

### I. 連結送水管、放水口を必要とする建築物

- ①. 地階を除く階数が、7以上 の建築物。
- ②. 地階を除く階数が、5以上で、延べ面積が6000m<sup>2</sup>以上の建築物。
- ③. 地下街は1000m以上。
- ④. 重要文化財等の建築物は上記①、②と同じ。
- ⑤. 延長50m以上のアーケードは全部。

### II. 連結送水管の設置基準

- ①. 放水口は建築物の3階以上、又は地階に設ける。
- ②. その階の各部分から1の放水口までの水平距離は50m以下、アーケードは25m以下とする。
- ③. 放水口の設置場所は、消防隊が有効に消火活動を行うことができる位置に設ける。
- ④. 主管径は100A以上とする。
- ⑤. 送水口は、双口形とする。
- ⑥. 11階以上の部分に設ける放水口は、双口形とし放水用器具を格納した箱を設置する。
- ⑦. 送水口及び放水口には見やすい箇所に標識を設ける。
- ⑧. 送水口のホース接続口は、地盤面からの高さが500mm以上、1000mm以下の位置に設ける。
- ⑨. 放水口のホース接続口は、床面からの高さが500mm以上、1000mm以下の位置に設ける。
- ⑩. 配管は専用とする。（ただし、連結送水管の性能に支障を生じない場合はこの限りでない）